7　参考資料（関連法規）

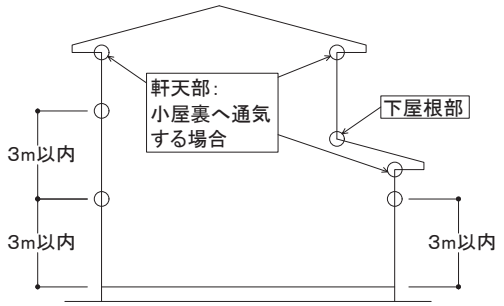
4）「建築基準法」防耐火性能に関わる規定

⑨準耐火構造の外壁通気構法と1時間準耐火構造（QF060BE-9225）のファイアストップ

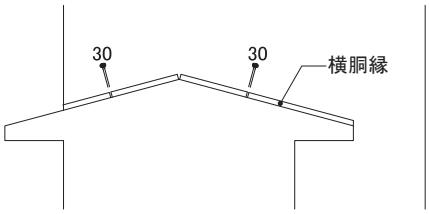
■45分準耐火構造
●横胴縁仕様・縦胴縁仕様とも、防火構造の外壁通気構法と同様の下地組みとしてください。

■1時間準耐火構造：横胴縁仕様
●下地組みを横胴縁とした場合、横胴縁がファイアストップの役割を果たすため、下図に示すファイアストップを別途設ける必要はありません。

■1時間準耐火構造：縦胴縁仕様または通気金具施工
●下地組みを縦胴縁とした場合、火災時に胴縁間の通気層内を熱気が上昇するため、通気層内にファイアストップ（JE7135、JE7245）を設ける必要があります。（JE7245は通気金具工法用。）
●ファイアストップ（JE7135、JE7245）は下図の位置に必要となります。



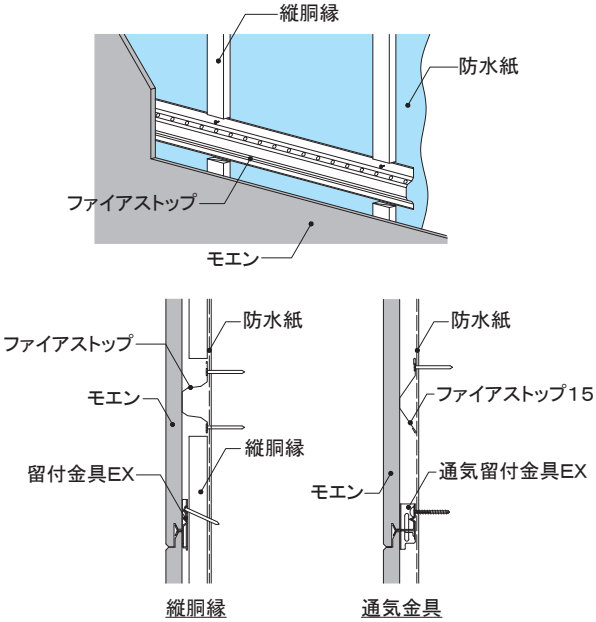
●下屋根部の胴縁は、棟側・流れ側とも、2000㎜以下の間隔で、30㎜程度の隙間を設けてください。



●施工方法はP78をご参照ください。

中間部（3m以内ごと）

●モエンの釘・金具の留付位置に、ファイアストップが重ならないようにしてください。



軒天部（小屋裏通気）

●モエンの釘・金具の留付位置に、ファイアストップが重ならないようにしてください。

